

まちの としょかんだより

2017.4月 No.1 (中学年)



～こどもの読書週間～ おすすめの本

クスツとわらえるものから、こわ～いお話まで。
フシギがいっぱいの世界のむかしばなしから、
ほんのちょっとだけご紹介！

こちらもおすすめ！

「ながぐつをはいたねこ」

(ヨーロッパのむかしばなし)

おとうさんからネコをゆずりうけたすえのむすこ。ネコは、「わたしにながぐつとふくろをくれさえすれば、かならずあなたをしあわせにしますよ！」といいだして…。さあ、どうやって、ごしゅじんをしあわせにするのでしょうか？

「ガルドンのながぐつをはいたねこ」

ポール・ガルドン／作 福音館書店



「3びきのかわいいオオカミ」

ヘレン・オクセンバリー／絵

富山房(Eオ)



お家をたてたのはオオカミで、それをこわしにやってくるのはこわ～いフタ！？みんながしってるむかしばなしとは逆の、ゆかいなおはなし。

こちらもおすすめ！

「すんだことは すんだこと」



ワンダ・ガアグ／再話 福音館書店

「雪の女王」

(アンデルセン童話より)



エロール・ル・カイン／絵 ほんぷ出版

「黒いお姫さま」

(ドイツのむかしばなし)



こどものいないおきさきさまが、アクマからでもいからとねがうと、美しいおひめさまがうまれました。

けれど、おひめさまは15さいになると「一度もウソをついたことがない人間が番をすればのろいはとける」と言いのこし、しんでスミのようにまっ黒になってしまいました。

王さまは、おひめさまの“ひつぎ”に番人を立てますが、真夜中になると黒いおひめさまが出てきて…。

「黒いお姫さま」 ヴィルヘルム・ブッシュ／再話

福音館書店

